

第17期一般陸曹候補生課程前期 自衛官候補生課程

教育修了

修了行進

大きく成長した姿を披露



豊川駐屯地



大久保駐屯地

後期教育部隊へ出発

笑顔と涙で同期との別れ



松山駐屯地



大津駐屯地



大津駐屯地

修了申告



大久保駐屯地

修了申告



豊川駐屯地

立会官訓示



松山駐屯地

修了証書授与

門をくぐって早3ヶ月、自衛隊での慣れない生活や初めての訓練に苦労した者も多かったと思うが、最後までよく頑張った。まずは一つ、前期教育という高い壁を乗り越えたわけであるが、すぐに後期教育、それが終われば部隊に配置され、中には実際に任務につく者も出てくる。君達の行く手には、次から次に乗り越えなければならぬ試練が立ちちはだかっている。人生とはそういうものである。それらの試練に立ち向かうか、諦めるのかは君達自身の心が決める。心を強く持つて新たな一歩を踏み出して貰いたい。

どうしても心が挫けそうになった時には、区隊長なら、班長なら、何と言うか心の中に思い浮かべてみる。きつと君達の進むべき道を示し、背中を押してくれるはずだ。後期教育での健闘を祈る。」と訓示した。

修了行進では、前期教育を通じて得た自信と後期教育に向けての希望を胸に、堂々と行進する新入隊員の姿が見られた。

自信と希望を胸に後期教育部隊へ



第47号

令和3年8月23日

団長要望事項
強くなれ

発刊：中部方面混成団広報室



web site

はなむけの言葉

教育大隊長式辞



第110教育大隊長 2等陸佐 川崎 路人

教育修了おめでとう。今、目の前にいる諸官の目には力が溢れ、達成感と自信に満ち溢れている。3ヶ月間の厳しい教育を乗り越えたという自信を胸に、後期教育のため全国に旅立ってもらいたい。

思い起こせば、入隊の当初から新型コロナウイルス感染拡大防止の為、様々な制約、対応が求められ、訓練・生活にも多大なる影響を及ぼし、精神的にも厳しい環境下での教育となった。その中でも、初夏の日差しが照りつける中踏破した25km行進、戦闘訓練場で基礎動作を体に叩き込んだ戦闘訓練、そして、何度も歩きたいと思ったけれど踏ん張って走り切った持続走競技会など、一つ一つ厳しい教育を乗り越え、乗り越えるたびに逞しさを身に付けてくれた。

本日修了の日を迎えることとなった諸官は、この後、それぞれの職種の技能を学び、そして職種部隊に配置される。そこではこれまで以上に厳しい訓練が待っているかも知れない。人間関係で悩むこともあるだろう。そんなときは是非、今の区隊長、区隊付、班長を頼ってもらいたい。悩みを相談することは生きていく上でとても大切なことだ。是非連絡してもらいたい。諸官の成長を願って止まない区隊長、班長たちはきっと良いアドバイスをくれるはずだ。

今回の式はご家族を呼ぶことは出来なかったが、無事に修了式を迎えられたことを是非ご家族に伝えてもらいたい。



第109教育大隊長 2等陸佐 有馬 靖

春に着隊して以来、教育隊長をはじめ、区隊長・区隊付・班長の指導のもと、全員が力を合わせ、3ヶ月にわたる厳しい教育訓練を通じて、自衛官として必要な基礎的な知識や技能を学ぶとともに、資質を向上し、本日晴れて修了式を迎えることができた。本当におめでとう。

入隊式の際、「積極的に取り組み自己を高めよ」と「相互に信頼し、信頼を得よう努力せよ」の2点を要望したが、各種多様な教育・訓練に常に前向きに取り組む、日を追うごとに、自衛官として成長していく皆さんの姿を目にすることが出来、また、困難なことも多くあったと思うが、時間に追われる中、同期と切磋琢磨し励まし合いながら、相互に信頼し助け合い、教育を乗り越えることができた。

今は教育を成し遂げた充実感と達成感に満ち溢れていることだろう。これから職種毎の専門の特技教育を受けた後、部隊に配置されることとなるが、ここ、大津の地で培った自衛官としての基礎に更に磨きをかけ、自らの資質及び知識・技能の向上を図ってほしい。

そして、国民の負託に応え得る自衛官として、部隊において、大いに活躍してくれること、そして、実際に任務に従事する事になった際は、いかなる困難な状況であろうとも、自らの使命を自覚して献身的に任務を完遂してくれることを期待している。



松山駐屯地
第110教育大隊 第317中隊
2等陸士
長田 恭平

「317中で本当に良かった」

教育は、とても厳しく苦しいものでしたが、仲間とともに力を合わせ乗り越えることが出来ました。

そして、関わった様々な人達から色々な事を学ぶ事ができ、本当に317中で良かったと思います。3ヵ月という短い間でしたが、とても濃い期間でした。



大久保駐屯地
第110教育大隊 第333中隊
2等陸士
堀 竜弥

「自分を誇りに思うようになりました」

基本教練に始まり、戦闘訓練や知識教育等、覚えることがたくさんあり本当に大変でした。

また、苦しい時には助けてくれたり、楽しいことを共有できた仲間には、感謝の気持ちでいっぱいです。

そして、教育を通じて自分を誇りに思うようになりました。自分で決めた道を最後まで頑張りたいと思います。

教育を終えて く三ヶ月間の想い



大津駐屯地
第109教育大隊 第314中隊
自衛官候補生
落合 裕美

「後期教育も精一杯頑張っていきたい」

教育では、自衛官の心構えや普段の生活の中でどのような事に意識して過ごせば良いかを班長から学びました。

また、体力がみんなより劣っていたため苦勞しましたが、練成を重ねるたびに体力が向上していることを実感でき、それが喜びになりました。

ここで学んだことを忘れず後期教育も精一杯頑張っていきたいです。



豊川駐屯地
第49普通科連隊 第316中隊
2等陸士
野村 健太

「かけがえのない経験と仲間を得ました」

31歳での入隊、妻や子供を残して家を出ていく不安、厳しい訓練等苦しい日もありましたが、出来なかったことが出来るようになったり、体力が向上していると感じた時の充実感や仲間たちと切磋琢磨することでできた団結は、かけがえのないものになりました。

教育を担当して

中隊長の思い



第333共通教育中隊長

1等陸尉 福田 一弘

中隊長に上番し、今回で3回目となる一般陸曹候補生の教育を担当し、171名の新隊員を後期教育部隊へ送り出す事ができました。私は、自衛隊勤務の大半を教育任務等に携わり、数多くの自衛官の育成にかかわってきましたが、共通して言えることは「教える人は教わる。」という事です。今回も数多くの事を新隊員から教わりました。自衛隊生活も長くはありませんが、今後も良き隊員の育成に覚悟を決め、任務に邁進していきます。



第316共通教育中隊長

1等陸尉 宮崎 忠和

約3ヵ月にわたり第49普通科連隊の臨時教育中隊として陸曹候補生課程147名の教育を担当しました。この間、コロナ禍における健康管理、他部隊との教育基盤や車両調整等で苦勞しましたが、第49普通科連隊長をはじめ各隊員の御指導、御支援、御協力のもと、1名も欠けることなく無事に修了させることができました。

この経験を踏まえ中隊隊員一同、更に教育レベル向上及び内容の充実を図り、真に役立つ隊員の育成に邁進してまいります。

祝 御 栄 転



長谷部 1 佐



川崎 2 佐

令和3年8月1日付で長谷部1佐は第28普通科連隊長へ、川崎2佐は中部方面總監部総務課文書班長へ御栄転されました。

第4陸曹教育隊長、第110教育大隊長離任

着任部隊長紹介



第110教育大隊長

2等陸佐

土 橋 晃 輔

徳島県出身 昭和45年生れ

主要勤務歴

第11普通科連隊
第1陸曹教育隊
北部方面教育連隊
第15普通科連隊
部隊訓練評価隊
第40普通科連隊 第2中隊長
第14旅団司令部 第3部 総括班長
第30普通科連隊 第3科長
中部方面總監部 地域連絡調整課 渉外班長
中部方面總監部 総務課 庶務班長
現 職



第4陸曹教育隊長

1等陸佐

木 場 元 大

長崎県出身 昭和43年生れ

主要勤務歴

第36普通科連隊
第3師団司令部 第3部 訓練幹部
第4普通科連隊 第3中隊長
北部方面總監部 人事部 人事第1班 人事幹部
陸上幕僚監部 人事計画課 服務室担当
第36普通科連隊 第3科長
ハイク派遣国際国際救援隊
第36普通科連隊 第3科長
中部方面總監部 人事第2班長
研究本部 総合研究部 第4研究課 第10研究室研究員
北部方面總監部 防衛部防衛課 陸上連絡官(大湊)
幹部候補生学校 主任教官
第28普通科連隊長
現 職



第49普通科連隊 令和3年度第1次連隊野営訓練

第49普通科連隊（連隊長 関谷 拓郎 1等陸佐）は、令和3年6月8日から13日の間、日本原演習場において令和3年度第1次連隊野営訓練を実施しました。



攻撃前進



攻撃命令下達 偽装した車両

訓練は、新型コロナウイルス感染症対策として緊急事態宣言やまん延防止措置が継続的に発出され、即応予備自衛官の訓練招集が制限されたため、常備自衛官のみで行いました。自衛官のみで行いました。は、各中隊の合同訓練とすることで勢力を確保し、部隊行動や火力発揮について演練し、連度の向上を図りました。狙撃についても連隊の集合訓練とし、潜入から一連の行動を状況下で演練して任務遂行能力を向上できました。徒步行進に引き続き行われた部隊訓練では、各中隊を攻撃部隊と防御部隊に分けた對抗方式とし、より実戦的な状況を作為して演練しました。即応予備自衛官の招集訓練では、基礎的な訓練が多くなるが、本野営訓練は、常備自衛官のみで実施したためより厳しい状況を作為して部隊行動を練成することができました。この成果を今後の即応予備自衛官教育に反映してまいります。



第47普通科連隊 令和3年度第2次連隊射撃等野営



01式軽対戦車誘導弾射撃



対人狙撃銃射撃訓練



81mm迫撃砲射撃

第47普通科連隊（連隊長 阿部 慎治 1等陸佐）は、7月4日から8日の間、日本原演習場において令和3年度第2次連隊射撃等野営を実施しました。本年度最初の常備自衛官と即応予備自衛官一体の訓練は、豪雨

と濃霧の中、個人携帯対戦車弾、01式軽対戦車誘導弾、81mm迫撃砲、対人狙撃銃等の実弾射撃を行い、常備自衛官が即応予備自衛官をサポートし射撃練度の向上を図りました。特に、対人狙撃銃射撃及び潜入訓練では、夜間の目標地域への潜入から狙撃陣地の選定・占領、敵情監視、目標発見、識別、狙撃を一連の状況下において、各中隊の狙撃組が精度を競い合い、練度を向上できました。連隊は、引き続き、参加した即応予備自衛官が達成感・充実感を得られるよう、常即一体となり訓練に精励します。

上曹入校予定者の皆さんへ

上級陸曹教育中隊長 3等陸佐 高村 憲吾



現在の陸曹上級課程教育は、約1か月と短い期間に、戦術教育、職務分析、3夜4日の総合訓練と息つく間のない課程教育であり、本教育を担当して、入校前にもう少し着意して頂きたいことがあります。

それは、戦闘員としての基礎体力を練成、準備することです。体力の必要性は十分理解していると思いますが、実際、総合訓練のような厳しい環境下においては体力がないが故に、自身の置かれた環境にただ耐えることしかできず実員指揮能力や状況判断能力等入校中でしか演練できないことが不十分な学生が少なからず見受けられます。

ここでの体力は武装・装備状態で如何に長時間行動できるかが重要であり、練成はラックサックマーチ等が有効です。最初は軽装からでもいいのでなるべく長時間行動することから始めてみてください。そして、戦闘員としての基礎体力を充実させて入校してください。

きっと今までとは違う何かを得ることができはずです。



団長訓話（上中）



山地潜入（上中）



攻撃戦闘（普中）



障害走（共中）

第4陸曹教育隊（隊長 長谷部 浩司 1等陸佐）は、令和3年度の各種課程教育を実施しています。第139期（2次）陸曹候補生課程119名、第139期陸曹候補生課程146名、第8期陸曹中級課程155名は必要な知識・技能を修得すべく日々精進しています。また、すでに修了した陸曹上級、陸曹候補生、初級陸曹特技、生徒陸曹候補生、陸曹基礎英語の各種課程は猛暑に負けずに教育を履修し、原隊等において活躍中です。



第4陸曹教育隊

令和3年度 各課程教育実施中



山地機動



団長訓話



事前課題に係る発表・討議



各普通科連隊長訓話

令和3年度中隊長等集合訓練

中隊長等の職務に直結する教育を実施

混成団は、令和3年7月15日から16日にかけて大津駐屯地及びあいはら野演習場で令和3年度中隊長等集合訓練を実施しました。訓練は、普通科連隊及び教育部隊の中隊長等に対し、体力・気力の向上及び団長企図の徹底を図るとともに、中隊長等の職務遂行に必要な識能を付与することを目的として行われ、知識教育では服務、人事、保全等について最新の方面隊、団の施策及び事例を反映した内容を教育しました。また、特別な科目として行われた夜間における山地機動では、暗闇の中、約5キロメートルの急峻かつ険しい進路を約6時間で目標地域へ到達し、体力・気力の充実や基礎的戦闘能力の重要性を再認識させることができました。さらに事前課題に係る発表・討議や各普通科連隊長による訓話が行われました。団長は、状況判断・任務分析・責任の範囲を基調とし善良な自衛官・社会人としての価値観を育てる服務指導の重要性について訓話しました。



ボートレース



駅伝



開会式



たい



綱引き



水泳



大津駐屯地夏祭り開催！

大津駐屯地は、令和3年7月27日、隊員相互の融和・団結を図るとともに、隊員家族との交流を図り、部隊に対する信頼感を維持することを目的に大津駐屯地夏祭りを開催しました。

開会式では、駐屯地司令自ら「たい」に扮装して登場し、大いに場を盛り上げました。

また、「せっかくだから楽しくやるぞ!!」の掛け声のもと、祭りは開幕しました。

競技は、駅伝方式の持続走競技、リレー方式の水泳競技、琵琶湖における段ボール船による漕艇（そうてい）競技、綱引き競技の4種目を大津駐屯地所在部隊からなる10コチームで競い合い、初となる取り組みに中隊毎に隊員が力を合わせ競技に臨み、大きな意義と多くの教訓を残せました。

祭りには、大津自衛隊協力会及び中部方面混成団友の会から両会長及び両会役員の見学を賜るとともに、多数の家族にも見学して頂き、好評を得ました。

成績

【中隊等対抗の部】

- 第1位 109教大 第315中隊
- 第2位 団本部
- 第3位 4曹教 共通教育中隊

【各競技の部】

- | | | | |
|-----|----------|------------|----------|
| 駅伝 | 1位 団本部 | 2位 315中隊 | 3位 314中隊 |
| 水泳 | 1位 団本部 | 2位 315中隊 | 3位 4曹教本部 |
| 漕艇 | 1位 315中隊 | 2位 普通科教育中隊 | 3位 316中隊 |
| 綱引き | 1位 316中隊 | 2位 共通教育中隊 | 3位 業務隊 |



綱登り・囲壁通過



チームミッション



自衛隊を全身で体験！

サマーキャンプ in 大津

第3級賞状を受賞



表彰式

混成団は令和3年7月20日、総監より隊員自主募集優秀部隊として第3級賞状を受賞しました。



隊員との懇談・討議

2日目は、グループ討議により参加者間の親睦を図り、隊員との懇談により指導部の隊員と参加者が話すことで部隊生活を含む入隊した場合のイメージアップや不安解消を行いました。参加者からは、「1泊2日の体験型イベントだったので自衛隊を良く理解出来ました。」と大変好評でした。

大津駐屯地は令和3年8月5日から6日の間、10コ地本58名（男性41名、女性17名）の参加者を受け入れ、方面隊施策「募集広報の日」の一環として「サマーキャンプ in 大津」を開催しました。

初日は、第49普通科連隊の格闘訓練展示を皮切りに、ラウンドロビン方式により、救急法、歩測、コンパスの使用法及び囲壁・綱登りの4課目を全参加者に教育し、その後の夜間にチームミッションを取り組ませ、各グループ毎協力して指令に基づき指定コースを地図判読しつつ、現出する状況を克服しながら1時間から2時間の所要時間の差はあったものの、無事にミッションをクリアしました。